

⑤ 課題発生時はお互いに協議し対策に対応できましたか。

③ふり返し段階 話し合いをした日: 年 月 日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。		
2	事業の目的・目標は達成できましたか。		
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。		
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。		
5	事業を振り返り、どのような課題(共有・認識の差等)を話し合い、共有しましたか。(記述式) 【団体】 例) 事業を振り返り、それぞれの立場からどのような課題や良かった点を相手へ伝えましたか。【団体】 【行政】  【行政】		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。(記述式) 【団体】 例) 上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐためどのような改善策を話し合いましたか。  【行政】		

「同上」になりがち...

### 2017 分析・評価に関する会合

- ・ (従来) 実施している評価のすり合わせが出来ていないため、団体と行政 **双方の意見が違うままスタートしてしまっていることがある。**
- ・ 団体と行政との間に、**やり方や結果に対する認識のずれが無いか**を評価するべき。
- ・ 団体と行政が **一緒に評価**しないと継続性のある団体に育たないし、溝が出来ていく原因となってしまう。
- ・ **お互いがコミュニケーションをとり、次につなげる話し合いをした**という欄を追加する。
- ・ 重要なのは「話し合ったか」ではなく、「何を話し合い、課題が見えたのか」という項目を入れること。

